

ヒューマンタッチ総研 Monthly Report

平成 28 年 12 月

ヒューマンタッチ総研レポートでは、建設業に特化して人材関連の様々な情報、最新の雇用関連データを月に1回のペースで発信していきます。ご愛読いただければ幸いです。

1 建設業界のトピックス

■2016 年中間決算では主要ゼネコン 25 社すべてが営業黒字 ～好調な受注環境を背景に収益性が向上～

主要ゼネコン 25 社の 2016 年 9 月中間決算の結果をまとめると図表①のようになった。

売上高については、大型案件の進捗率が予想を下回ったために完成工事高が減少した影響を受けたこともあり 17 社が減収になった。一方、利益については各社ともに好調であり、25 社すべてが営業黒字を達成し、20 社が前年同期比で増益となった。営業利益率についても改善傾向であり、同じく 20 社が前年を上回った。

大林組、鹿島、清水建設、大成建設の上位 4 社はいずれも、連結中間決算の公表を始めた 2000 年以降における最高益を更新している。東京都心再開発や東京オリンピック関連の需要を背景とした好調な受注環境の中で、大幅に収益性が向上したとみられる。

また、業績の先行指標となる受注高についても 17 社が前年同期を上回っており、今後についても業績は堅調に推移すると思われる。このように業界全体が活況を呈する中、工事量に応じた建設技術人材を安定的に確保することが各社ともに重要な経営課題になると考えられる。10 月の建設技術職の有効求人倍率は 5.28 倍にまで上昇しており、人材獲得に向けて労働環境の整備やワークライフバランスの改善、女性や外国人の積極的な採用がさらに推進されると考えられる。

【図表① 主要ゼネコン 25 社の 2016 年 9 月中間決算(連結)の結果一覧】

会社名	売上高(億円)		営業利益(億円)		営業利益率		受注高(億円)*単体	
	実績	前年同期増減率	実績	前年同期増減率	実績	前年同期増減(ポイント)	実績	前年同期増減率
大林組	8,589	2.9%	591	39.0%	6.9%	1.8	5,733	-4.5%
鹿島	8,132	3.8%	737	129.8%	9.1%	5.0	8,268	38.5%
清水建設	7,124	-8.9%	517	30.9%	7.3%	2.2	6,520	-4.7%
大成建設	6,463	-11.1%	525	18.4%	8.1%	2.0	7,233	3.7%
長谷工コーポレーション	3,447	-2.6%	360	23.0%	10.4%	2.2	2,245	2.6%
五洋建設	2,411	5.4%	116	38.2%	4.8%	1.1	2,674	60.6%
戸田建設	2,041	-6.6%	121	10.4%	5.9%	0.9	2,075	20.1%
前田建設	1,949	0.5%	96	54.5%	4.9%	1.7	2,039	0.6%
安藤ハザマ	1,880	8.9%	144	46.2%	7.7%	2.0	2,088	12.8%
三井住友建設	1,834	-0.7%	130	61.6%	7.1%	2.7	1,427	-12.3%
熊谷組	1,551	-5.4%	106	18.1%	6.8%	1.4	1,328	8.3%
西松建設	1,509	-5.3%	110	24.4%	7.3%	1.7	1,166	19.2%
東急建設	1,034	-10.1%	95	100.2%	9.2%	5.1	826	-37.7%
奥村組	944	1.7%	64	69.8%	6.8%	2.7	1,116	12.9%
東亜建設工業	779	-21.1%	32	-54.3%	4.1%	-3.0	591	-37.2%
東洋建設	723	-1.7%	36	-21.2%	5.0%	-1.2	655	-28.7%
鉄建	699	-1.6%	27	42.8%	3.9%	1.2	782	42.6%
青木あすなろ建設	650	2.8%	39	50.3%	6.0%	1.9	504	-16.8%
大豊建設	639	-10.1%	36	-14.1%	5.6%	-0.3	685	51.2%
浅沼組	582	-17.2%	34	36.6%	5.8%	2.3	956	32.7%
ナカノブー建設	567	-2.1%	32	6.8%	5.6%	0.5	438	16.5%
飛鳥建設	550	-0.9%	29	4.2%	5.3%	0.3	872	53.6%
東鉄工業	487	1.7%	42	-7.7%	8.6%	-0.9	567	17.0%
銭高組	473	-19.2%	23	13.1%	4.9%	1.4	581	7.5%
ピーエス三菱	391	-8.1%	6	-35.2%	1.5%	-0.6	401	-12.5%

出典:各社の有価証券報告書の情報より作成

■このレポートに関する問合せ■ 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-5-25 西新宿木村屋ビル 1 階

ヒューマンタッチ株式会社 ヒューマンタッチ総研担当 TEL:03-6846-9050 Mail:ht@athuman.com

2 建設業界の最新雇用関連データ(2016年11月29日公表)

(1)建設業の就業者数・雇用者数・新規求人数

◆建設業の就業者数は493万人(前年同月比95.5%)、雇用者数は400万人(同95.5%)となり2カ月連続でともに減少

<建設業の就業者数と雇用者数の推移>

	2015年10月	11月	12月	2016年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
就業者数(万人)	516	508	494	472	478	491	499	498	495	494	495	491	493
前年同月比	98.5%	98.4%	98.2%	96.5%	99.8%	98.6%	97.8%	98.6%	97.1%	99.2%	100.8%	97.2%	95.5%
雇用者数(万人)	419	413	403	382	386	396	403	405	403	405	410	402	400
前年同月比	98.6%	97.6%	97.6%	95.5%	99.7%	98.0%	97.8%	98.3%	95.7%	100.0%	101.5%	98.0%	95.5%

出典:総務省「労働力調査」より作成

◆建設業の新規求人数は67,334人(前年同月比101.0%)と3カ月連続で増加

<建設業の新規求人数の推移(新規学卒者とパートを除く)>

	2015年10月	11月	12月	2016年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
新規求人数(人)	66,649	54,797	52,776	64,418	62,356	62,201	63,232	59,401	65,804	64,035	59,860	67,907	67,334
前年同月比	99.7%	103.0%	104.5%	99.5%	107.2%	104.8%	100.5%	108.9%	107.2%	98.8%	108.5%	109.8%	101.0%

出典:厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

(2)建設技術職の雇用動向

◆建築・土木・測量技術者の有効求人倍率は5.23倍(前年同月比1.03ポイント上昇)と17カ月連続で前年同月を上回る

◆有効求人数は11カ月連続で前年同月を上回り、建設技術職への需要は高水準が続いている

<建築・土木・測量技術者の雇用関連指標の推移(常用・除くパート)>

	2015年10月	11月	12月	2016年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
新規求人数(人)	17,870	15,929	15,584	17,172	18,191	16,819	17,232	17,396	18,470	17,666	17,703	18,858	18,451
有効求人数(人)	49,436	49,590	48,598	47,863	50,246	51,412	51,034	50,469	52,159	52,066	52,728	53,251	54,183
新規求職者数(人)	2,852	2,436	2,161	2,759	2,835	3,073	4,126	2,941	2,784	2,472	2,484	2,343	2,439
有効求職者数(人)	11,625	11,125	10,431	10,461	10,662	11,335	12,434	12,292	11,902	11,057	10,674	10,364	10,255
有効求人倍率	4.25	4.46	4.66	4.58	4.71	4.54	4.10	4.11	4.38	4.71	4.94	5.14	5.28
就職件数(人)	1,142	714	902	817	684	1,252	1,207	1,125	1,191	1,063	1,027	1,053	1,018
充足率	6.4%	4.5%	5.8%	4.8%	3.8%	7.4%	7.0%	6.5%	6.4%	6.0%	5.8%	5.6%	5.5%

出典:厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

<建築・土木・測量技術者の雇用関連指標の前年同月比(常用・除くパート)>

	10月	11月	12月	2016年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
新規求人数	95.1%	106.7%	105.5%	95.5%	111.7%	105.0%	99.8%	114.2%	106.9%	98.7%	112.4%	113.9%	103.3%
有効求人数	96.5%	99.5%	103.1%	102.0%	104.3%	103.9%	104.9%	106.2%	106.6%	105.7%	106.9%	108.1%	109.6%
新規求職者数	93.5%	105.6%	95.7%	87.5%	101.7%	93.7%	88.2%	96.0%	92.0%	83.5%	95.9%	90.1%	85.5%
有効求職者数	92.2%	95.8%	95.4%	93.2%	93.6%	93.0%	91.2%	92.0%	91.4%	89.2%	89.9%	88.9%	88.2%
有効求人倍率	0.19	0.17	0.35	0.40	0.48	0.48	0.53	0.55	0.62	0.73	0.79	0.92	1.03
就職件数	84.2%	66.2%	91.2%	85.6%	68.3%	98.3%	89.7%	89.9%	97.5%	87.4%	102.5%	97.4%	89.1%
充足率	-0.8%	-2.7%	-0.9%	-0.5%	-2.4%	-0.5%	-0.8%	-1.8%	-0.6%	-0.8%	-0.6%	-0.9%	-0.9%

(3)建設技能工の雇用動向

◆建設・採掘の職業の有効求人倍率は3.77倍(前年同月比0.45ポイント上昇)と18カ月連続で前年同月を上回る

◆有効求人数は11カ月連続で前年同月を上回り、建設技能工への需要も高水準が続いている

<建設・採掘の職業の雇用関連指標の推移(常用・除くパート)>

	2015年10月	11月	12月	2016年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
新規求人数(人)	34,288	28,185	26,811	33,498	31,610	31,954	32,559	29,452	33,579	33,120	30,270	34,856	34,385
有効求人数(人)	92,880	91,487	86,877	86,685	90,289	94,445	93,457	90,968	93,050	93,482	94,194	96,156	96,848
新規求職者数(人)	7,282	6,350	6,089	8,163	8,214	8,971	9,230	7,816	7,535	6,793	6,852	6,848	6,501
有効求職者数(人)	28,008	26,527	25,395	26,642	28,237	30,646	31,276	30,490	29,448	27,995	27,110	26,603	25,703
有効求人倍率	3.32	3.45	3.42	3.25	3.20	3.08	2.99	2.98	3.16	3.34	3.47	3.61	3.77
就職件数	4,081	3,534	3,081	3,029	3,601	4,040	4,102	3,950	4,016	3,633	3,378	3,582	3,527
充足率	11.9%	12.5%	11.5%	9.0%	11.4%	12.6%	12.6%	13.4%	12.0%	11.0%	11.2%	10.3%	10.3%

出典:厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

<建設・採掘の職業の雇用関連指標の前年同月比(常用・除くパート)>

	2015年10月	11月	12月	2016年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
新規求人数	97.2%	100.8%	103.7%	99.3%	102.7%	104.2%	101.1%	102.9%	107.5%	99.7%	104.9%	108.6%	100.3%
有効求人数	96.9%	98.9%	101.0%	101.3%	102.2%	102.2%	102.8%	103.1%	104.4%	103.8%	104.8%	104.9%	104.3%
新規求職者数	91.8%	99.6%	99.6%	93.2%	102.0%	96.9%	87.8%	99.3%	91.2%	88.3%	97.7%	97.9%	89.3%
有効求職者数	92.0%	93.7%	95.8%	95.5%	97.1%	96.7%	92.9%	93.9%	92.4%	91.7%	92.4%	93.3%	91.8%
有効求人倍率	0.17	0.18	0.18	0.18	0.16	0.16	0.29	0.26	0.36	0.39	0.40	0.39	0.45
就職件数	84.0%	89.4%	93.1%	89.5%	100.4%	92.7%	90.3%	92.8%	87.6%	85.8%	95.0%	94.5%	86.4%
充足率	-1.9%	-1.6%	-1.3%	-1.0%	-0.3%	-1.6%	-1.5%	-1.5%	-2.7%	-1.8%	-1.2%	-1.5%	-1.6%

3 2016 年 10 月の雇用関連データのまとめ(2016 年 11 月 29 日公表)

◆就業者数、雇用者数ともに大幅に増加しており、雇用環境は依然として改善基調が続く

就業者数は 6,495 万人(前年同月比 63 万人増)で 1 年 11 ヶ月連続の増加となった。雇用者数も 5,793 万人(同 89 万人増)で 3 年 10 ヶ月連続の増加となっており、雇用環境は改善基調が続いている。

◆完全失業者数は 195 万人で 6 年 5 カ月連続の減少

完全失業者数は 195 万人(前年同月比 13 万人の減少)で 6 年 5 カ月連続の減少となった。完全失業率(季節調整値)は前月と同じで 3.0%となった。

◆中長期的にも雇用環境は改善傾向が続いている

過去 5 年間の 10 月の数値を見ると、完全失業者数は 5 年連続で減少、完全失業率も 5 年連続で改善されている。また、就業率も 5 年連続で上昇しており、中長期的にも雇用環境は改善傾向が続いている。

【主要雇用環境指標の推移】

	2015年10月	11月	12月	2016年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
労働力人口(万人)	6,640	6,588	6,588	6,610	6,564	6,555	6,621	6,662	6,707	6,682	6,677	6,701	6,690
対前年同月増減(万人)	17	-2	21	70	16	8	45	38	59	79	74	36	50
就業者数(万人)	6,432	6,379	6,385	6,399	6,351	6,339	6,396	6,446	6,497	6,479	6,465	6,497	6,495
対前年同月増減(万人)	42	8	28	90	29	20	54	46	72	98	86	58	63
就業率(15歳以上人口に占める就業者の割合)	58.0%	57.6%	57.6%	57.8%	57.4%	57.2%	57.8%	58.2%	58.6%	58.8%	58.4%	58.6%	58.6%
対前年同月増減	0.4%	0.1%	0.2%	0.8%	0.3%	0.1%	0.5%	0.4%	0.6%	0.9%	0.8%	0.5%	0.6%
雇用者数(万人)	5,704	5,676	5,694	5,712	5,684	5,649	5,679	5,718	5,740	5,721	5,722	5,771	5,793
対前年同月増減(万人)	75	39	49	101	89	69	101	94	75	89	83	84	89
完全失業者数(万人)	208	209	204	211	213	216	224	216	210	203	212	204	195
対前年同月増減(万人)	-25	-10	-6	-20	-13	-12	-10	-8	-14	-19	-13	-23	-13
完全失業率	3.1%	3.3%	3.3%	3.2%	3.3%	3.2%	3.2%	3.2%	3.1%	3.0%	3.1%	3.0%	3.0%

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

【主要雇用環境指標の前年同月の推移】

	2012年10月	2013年10月	2014年10月	2015年10月	2016年10月
労働力人口(万人)	6,592	6,629	6,623	6,640	6,690
対前年同月増減(万人)	-6	37	-6	17	50
就業者数(万人)	6,321	6,366	6,390	6,432	6,495
対前年同月増減(万人)	13	45	24	42	63
就業率(15歳以上人口に占める就業者の割合)	57.0%	57.4%	57.6%	58.0%	58.6%
対前年同月増減	0.3%	0.4%	0.2%	0.4%	0.6%
雇用者数(万人)	5,546	5,596	5,629	5,704	5,793
対前年同月増減(万人)	31	50	33	75	89
完全失業者数(万人)	271	263	233	208	195
対前年同月増減(万人)	-18	-8	-30	-25	-13
完全失業率	4.1%	4.0%	3.6%	3.2%	3.0%

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

◆医療・福祉の就業者数の大幅な増加傾向が続く

産業別に就業者数を見ると、最も増加しているのは医療・福祉であり、前年同月比 28 万人の増加で 807 万人となった。最も大幅に減少したのは建設業であり、前年同月比 23 万人の減少で 493 万人となった。

【主要産業別の就業者数・雇用者数】

	農業・林業	建設業	製造業	情報通信業	運輸業 郵便業	卸売業 小売業	金融業 保険業
就業者数							
実数(万人)	221	493	1,046	214	329	1,060	167
対前年同月増減	7	-23	22	1	-6	-6	12
雇用者数							
実数(万人)	64	400	1,003	207	318	979	163
対前年同月増減	4	-19	17	4	-6	3	12

	不動産業 物品賃貸業	学術研究 専門・技術 サービス業	宿泊業 飲食サービス 業	生活関連 サービス業 娯楽業	教育 学習支援業	医療・福祉	サービス業 (他に分類され ない)
就業者数							
実数(万人)	131	229	400	231	316	807	413
対前年同月増減	2	6	2	-3	8	28	4
雇用者数							
実数(万人)	117	184	344	176	292	775	375
対前年同月増減	0	7	11	-1	9	32	10

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

◆正規社員は 1 年 11 カ月連続の増加で 3,405 万人となる

正規の職員・従業員数は 3,405 万人(前年同月比 74 万人増)で 1 年 11 ヶ月連続の増加となった。非正規の職員・従業員数は 2,028 万人(前年同月比 31 万人増)で 11 カ月連続の増加となり、非正規社員の比率は 37.3%(前年同月比 0.1 ポイント上昇)と前月と同じであった。

【雇用形態別雇用者数の推移】

	2015年10月	11月	12月	2016年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
役員を除く雇用者数(万人)	5,328	5,310	5,355	5,366	5,342	5,313	5,338	5,366	5,393	5,382	5,382	5,419	5,433
正規の職員・従業員(万人)	3,331	3,300	3,316	3,329	3,333	3,338	3,375	3,376	3,376	3,357	3,353	3,396	3,405
構成比	62.5%	62.1%	61.9%	62.0%	62.4%	62.8%	63.2%	62.9%	62.6%	62.4%	62.3%	62.7%	62.7%
対前年同月増減(万人)	33	19	25	56	90	68	81	45	31	21	24	48	74
非正規の職員・従業員(万人)	1,997	2,010	2,038	2,037	2,008	1,975	1,962	1,990	2,016	2,025	2,028	2,023	2,028
構成比	37.5%	37.9%	38.1%	38.0%	37.6%	37.2%	36.8%	37.1%	37.4%	37.6%	37.7%	37.3%	37.3%
対前年同月増減(万人)	17	-2	22	48	34	2	23	41	46	69	56	37	31

出典：総務省統計局 労働力調査より作成

◆完全失業者数は男性 9 万人減、女性 3 万人減となり、男性・女性ともに減少

完全失業者数は男性が 120 万人(対前年同月比 9 万人減)、女性が 75 万人(同 3 万人減)となり、男性・女性ともに減少した。

◆完全失業率の改善幅が最も大きかったのは 55 歳～64 歳の女性

完全失業率(季節調整値)を年齢層別・男女別に見ると、55 歳～64 歳の女性が 0.6 ポイント低下して 2.0%となり、最も大幅な改善となった。

【年齢階級別・男女別完全失業者数・完全失業率】

年齢階級	完全失業者数(万人)	対前年同月増減(万人)	完全失業率(季節調整値)	対前月増減(ポイント)
総数	195	-13	3.0%	0.0
(男)	120	-9	3.2%	-0.1
(女)	75	-3	2.7%	0.1
15歳～24歳	27	-1	5.1%	-0.2
(男)	17	1	6.1%	-0.2
(女)	10	-2	4.0%	0.3
25歳～34歳	49	0	4.2%	0.2
(男)	31	1	4.7%	0.6
(女)	18	-1	3.5%	-0.3
35歳～44歳	39	-7	2.6%	-0.1
(男)	20	-7	2.3%	-0.5
(女)	18	-1	2.9%	0.3
45歳～54歳	36	-3	2.3%	0.0
(男)	21	-1	2.4%	-0.1
(女)	15	-2	2.2%	0.2
55歳～64歳	29	-3	2.6%	-0.4
(男)	19	-5	2.9%	-0.3
(女)	9	1	2.0%	-0.6
65歳以上	16	2	2.1%	-0.2
(男)	12	1	-	-
(女)	4	1	-	-

出典：総務省統計局 労働力調査より作成

◆「勤め先や事業の都合による離職」の減少傾向が続く

完全失業者を求職理由別に見ると、「勤め先や事業の都合による離職」が 34 万人で前年同月比 5 万人の減少となり、3 年 10 カ月連続の前年割れとなった。景気が回復基調で推移するなか、倒産やリストラ等の事業者都合による離職は減少傾向が続いている。

【求職理由別完全失業者数の推移】

	2015年10月	11月	12月	2016年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
勤め先や事業の都合による離職(万人)	39	35	38	44	38	37	39	36	35	35	35	33	34
対前年同月増減(万人)	-7	-11	-6	-2	-3	-7	-2	-6	-5	-4	-6	-8	-5
定年または雇用契約終了による離職(万人)	24	23	21	21	22	24	29	29	22	19	24	24	20
対前年同月増減(万人)	-2	-1	0	-3	-2	-2	-3	4	-4	-3	-2	0	-4
自発的な離職(自己都合)(万人)	87	90	85	84	90	82	88	88	87	88	92	88	83
対前年同月増減(万人)	-4	6	0	-9	-3	-3	1	0	2	-2	-1	-6	-4

出典：総務省統計局 労働力調査より作成

◆有効求人倍率は 1.40 倍で 0.02 ポイント上昇

有効求人倍率(季節調整値)は 1.40 倍で前月比 0.02 ポイント上昇、新規求人倍率(同)は 2.11 倍で前月より 0.02 ポイント上昇、正社員の有効求人倍率(同)は 0.89 倍で前月より 0.01 ポイント上昇と、すべてが上昇。人材確保がより困難な状況になっている。

【有効求人倍率(パートタイムを含む/季節調整値)の推移】

	2013年 平均	2014年 平均	2015年 平均	2016年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
有効求人倍率(倍)	0.93	1.09	1.20	1.28	1.28	1.30	1.34	1.36	1.37	1.37	1.37	1.38	1.40
新規求人倍率(倍)	1.46	1.66	1.80	2.07	1.92	1.90	2.06	2.09	2.01	2.01	2.02	2.09	2.11
正社員有効求人倍率(倍)	0.56	0.67	0.75	0.80	0.81	0.82	0.85	0.87	0.88	0.88	0.88	0.88	0.89

出典:厚生労働省:一般職業紹介状況より作成

◆「建築・土木・測量技術者」の有効求人倍率は 5.28 倍に上昇

前年差で最も求人倍率が上昇した職業は 3 カ月連続で「建築・土木・測量技術者」であり、前年より 1.03 ポイント上昇して 5.28 倍となり、「建築・土木・測量技術者」の人材不足は一段と深刻な状況になっている。

【職業別有効求人倍率(除パート)の推移】

	2014年 平均	2015年 平均	2016年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
職業計	0.89	0.98	1.12	1.11	1.07	1.01	1.01	1.06	1.09	1.12	1.15	1.18
専門的・技術的職業	1.61	1.74	2.00	1.97	1.85	1.68	1.68	1.78	1.86	1.90	1.95	2.00
開発技術者	1.62	1.86	1.98	2.00	1.91	1.82	1.83	1.89	1.95	2.00	2.03	2.04
建築・土木・測量技術者	3.97	4.07	4.58	4.71	4.54	4.10	4.11	4.38	4.71	4.94	5.14	5.28
情報処理技術者	1.95	2.16	2.38	2.47	2.44	2.34	2.30	2.40	2.43	2.45	2.47	2.46
医師、歯科医師、獣医師、薬剤師	7.72	7.18	7.64	8.00	7.79	6.67	6.46	6.67	6.83	6.62	6.96	7.07
保健師、助産師、看護師	2.90	2.78	3.08	2.94	2.75	2.43	2.41	2.52	2.58	2.55	2.57	2.63
医療技術者	2.71	2.88	3.24	3.20	3.01	2.61	2.52	2.70	2.88	2.95	2.95	2.99
その他の保健医療の職業	1.25	1.39	1.57	1.49	1.41	1.35	1.34	1.44	1.48	1.57	1.63	1.67
社会福祉専門の職業	1.71	2.05	2.52	2.35	2.18	1.90	1.94	2.10	2.24	2.36	2.48	2.57
美術家、デザイナー、写真家	0.36	0.38	0.43	0.45	0.44	0.43	0.41	0.43	0.44	0.44	0.45	0.45
事務的職業	0.27	0.30	0.34	0.36	0.35	0.31	0.31	0.32	0.33	0.34	0.36	0.36
販売の職業	1.06	1.22	1.44	1.45	1.40	1.36	1.37	1.44	1.46	1.52	1.53	1.56
サービスの職業	1.60	1.94	2.29	2.23	2.15	2.12	2.15	2.24	2.32	2.37	2.40	2.47
生産工程の職業	0.93	1.03	1.14	1.15	1.11	1.08	1.08	1.11	1.14	1.18	1.24	1.28
輸送・機械運転の職業	1.58	1.69	1.87	1.86	1.81	1.75	1.76	1.80	1.85	1.88	1.92	1.99
建設・採掘の職業	2.96	3.04	3.25	3.20	3.08	2.99	2.98	3.16	3.34	3.47	3.61	3.77

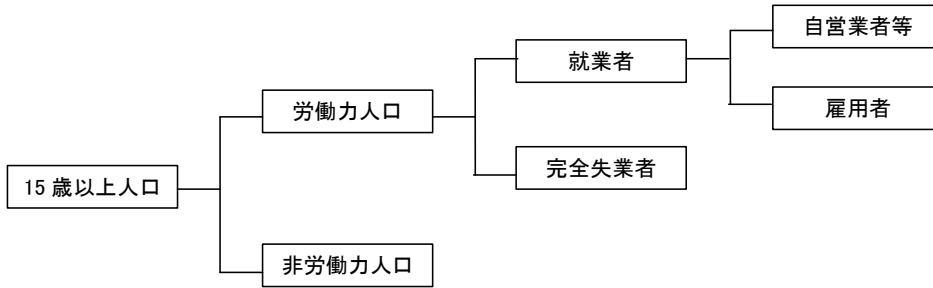
【職業別有効求人倍率(除パート)の対前年同月差】

	2016年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
職業計	0.11	0.11	0.11	0.12	0.13	0.14	0.13	0.13	0.13	0.15
専門的・技術的職業	0.13	0.14	0.13	0.15	0.15	0.17	0.17	0.16	0.16	0.20
開発技術者	0.00	0.08	0.10	0.12	0.11	0.09	0.09	0.12	0.11	0.16
建築・土木・測量技術者	0.40	0.48	0.48	0.53	0.55	0.62	0.73	0.79	0.92	1.03
情報処理技術者	0.20	0.25	0.24	0.26	0.29	0.29	0.31	0.28	0.30	0.32
医師、歯科医師、獣医師、薬剤師	-0.47	0.06	0.35	0.28	-0.08	-0.17	-0.23	-0.45	-0.18	0.04
保健師、助産師、看護師	-0.08	-0.10	-0.10	-0.04	-0.09	-0.08	-0.10	-0.13	-0.13	-0.12
医療技術者	0.16	0.08	0.07	0.04	0.00	0.06	0.08	0.04	0.07	0.06
その他の保健医療の職業	0.18	0.08	0.02	0.09	0.12	0.17	0.12	0.16	0.18	0.22
社会福祉専門の職業	0.27	0.24	0.24	0.29	0.29	0.31	0.27	0.26	0.27	0.29
美術家、デザイナー、写真家	0.05	0.06	0.06	0.08	0.07	0.07	0.07	0.06	0.06	0.05
事務的職業	0.03	0.04	0.04	0.04	0.05	0.04	0.04	0.04	0.05	0.05
販売の職業	0.23	0.25	0.24	0.27	0.27	0.28	0.24	0.26	0.24	0.27
サービスの職業	0.39	0.38	0.37	0.39	0.38	0.40	0.40	0.38	0.37	0.39
生産工程の職業	0.10	0.11	0.10	0.13	0.15	0.15	0.15	0.15	0.17	0.20
輸送・機械運転の職業	0.15	0.15	0.16	0.18	0.18	0.19	0.21	0.20	0.20	0.25
建設・採掘の職業	0.18	0.16	0.16	0.29	0.26	0.36	0.39	0.40	0.39	0.45

出典:厚生労働省:一般職業紹介状況より作成

<用語解説>

1. 労働力人口・就業者・雇用者・完全失業者



* 労働力人口

15 歳以上で働く意思と能力を持つ者。

* 非労働力人口

15 歳以上で働く意思や能力のない者。

* 就業者

賃金、給料、諸手当、営業収益、手数料、内職収入など収入(現物収入を含む。)になる仕事を少しでもした者。

* 完全失業者

仕事がなくして仕事をしなかった者のうち、就業が可能でこれを希望し、かつ仕事を探していた者、および仕事があればすぐに就ける状態で過去に行った求職活動の結果を待っている者。

* 自営業者

株式会社等の法人を設立せずに自ら事業を行っている者。

* 雇用者

会社・団体・官公庁または自営業主や個人の家庭に雇われて給料・賃金を得ている者。

2. 就業率

「15 歳以上の人口」に占める「就業者」の割合

3. 完全失業率

「労働力人口」に占める「完全失業者数」の割合

4. 有効求人倍率

有効求人数／有効求職者数(倍)

5. 新規求人倍率

新規求人数／新規求職者数(倍)

*「新規求人」とは、その月に受け付けた求人をいい、前月から未充足のまま繰り越された求人と新規求人との合計を「有効求人」という。

6. 充足率

(就職件数／新規求人数) × 100 (%)